福祉センター利用団体のプロフィール

No.１

団体名	稲城市精神障がい者家族会　稲穂会
代表者名	高野玲子
活動内容	心の病気や不調を抱えた当事者に悩む家族が月に一度集まり、語り合いや、情報交換、勉強会などをしています。こうした活動を通じて家族が元気をとりもどし当事者の回復（リカバリー）する道を一緒に探しています。
活動日	**第三月曜日の午前１０時～１２時（介護予防教室、又は第一会議室）**ただし場所が取れない時には変更がありますので連絡をください。
活動内容等のＰＲ	1995 年に地域の保健師さんの声かけで始まった家族会です。会員は３０名弱と多くはありませんが、３０年目も今日では、地域の社会資源の一つとして心の病気、不調に悩む家族に寄り添い、同じ経験をした強みを生かしながら、家族相談会も開いています。 活動の中心は参加された方の語り合いですが、行政や地域で当事者、家族を支援してくれている関係者を呼んでの勉強会、事業所見学などもしています。 又年に１回は地域の市民にも開かれた「精神保健福祉講演会」開き、当事者、家族が生きやすい地域になることを願って開催しています。 最近では、災害時の災害弱者である障害者の視点を大事にした活動やイベントなどを通して他の障害者団体やボランティア団体ともゆるやかにつながることができつつあります。顔の見える関係がこれから益々大切かと思います。ここ福祉センターでの出会いや交流の機会が増えることを願います。 心の病気への偏見はまだまだ根強いものがあります。とても小さな灯ではありますが、この病気や障害への勉強、理解を進め歩いていけたらと思います。どうぞ気軽に覗いてみて下さい。
問い合わせ先	高野　090―9243―2644 丹治　080―4370―3516

福祉センター利用団体のプロフィール

№.２

団体名	支え合う会　みのり
代表者名	福祉センター会食会　内田桂子
活動内容	高齢者（７０歳以上）会食会
活動日	原則　毎月第１月曜日
活動内容等のＰＲ	福祉センター会食会は、１９８４年１０月にみのり会食会として初めて発足した歴史ある会食会です。 原則７０歳以上の参加者とボランティアで月に１度昼食を食べ、いろいろなイベントを行ったり、会員同士楽しくおしゃべりしたりする集まりです。 季節に沿った献立、旬の野菜、揚げ物、煮物など、手作りで作っています。 月曜日は介護予防教室の会食会場横の「ふれあいセンター」も開いていますので、両方に参加される方も多いです。 興味のある方は是非お越しください！ みのり会費 2,000 円　毎月会食代金 300 円
問い合わせ先	みのり事務所　042-378-8757（月～金　10 時～18 時）

福祉センター利用団体のプロフィール

No.３

団体名	六点の会
代表者名	近見勇生
活動内容	① 点訳　市や社協刊行物である社協だより、ふれあい通信、カレンダー、障害福祉のしおり、及び他のボランティア団体の総会プログラム等の点訳。中央図書館から依頼された書籍や盲学校から依頼された絵本の点訳や視覚障害者から依頼された本等の点訳。 ② 対外活動　小中高等学校での福祉教育の一環としての点字教室及び社協等が行う新任教職員研修、夏！体験ボランティア活動、防災訓練、手作り市民祭等での点字教室の開催、中央図書館から依頼される館内での点字教室等。 ③ その他　社協主催の年末行事や点訳者養成講座等への支援。
活動日	定例会は原則毎月第２木曜日　対外活動は随時
活動内容等のＰＲ	稲城市で活動している点訳の会で、創立してから約半世紀の会です。視覚障害者の方へ上記刊行物等の社協だよりやふれあい通信、カレンダー、障害福祉のしおり等の点訳サービス、小中高等学校での点訳教室等を行っています。また、盲学校からの依頼に基づき、絵本の点訳を行っています。 点訳はまず定例会で担当を決め、実務は自宅でパソコン等を使って点訳しています。校正を何回も行うことにより、点訳者が気付かなかった誤記等を指摘してもらい、月１回の定例会で指摘された事項等について意見交換をしながら情報を共有化し、点訳技術の向上を心がけています。同時に言葉自体への関心も深まります。 社協主催で定期的に初心者向けの点訳講習会が開催されています。「点字って何だろう？」そんな興味からで大丈夫です。 一緒に活動を始めませんか？
問い合わせ先	近見（チカミ）勇生　　電話 042-379-1716

福祉センター利用団体のプロフィール

№.４

団体名	稲城市聴覚者障害者協会
代表者名	荒川健一
活動内容	私たち聴覚障がい者は、家庭・職場・教育・地域社会などあらゆる場面で基本的人権を損なわれることなく、能力を充分に発揮して、社会参加できる環境を求めています。聴覚に障がいがあるなしにかかわらず、たくさんの仲間が地域社会の中で精神的にも経済的にも安心して暮らしていけるように、稲城市聴覚障害者協会では社会への啓発活動や情報・コミュニケーション保障の整備に取り組んでいます。
活動日	ほぼ月１回
活動内容等のＰＲ	稲城市聴覚障害者協会は、聞こえない人・聞こえにくい人、またその支援者が集まる団体です。私たちは広く聴覚障害者の福祉の増進と生活・文化も向上を図るさまざまな事業を行い、地域社会に寄与することを目的として活動しています。 会員になると当協会主催の講演会、社会教養講座、交流会などの行事に会員価格（無料のものもあります）参加できます。 主な活動内容は以下のとおりです。 １．稲城市への聴覚障害者施策の要望提起（年１回）、学校へのボアンティア活動、関係団体との連携・交流 ２．交流企画（茶話会、社会教養講座、社会見学、後援会など） ３．稲城市防災訓練に協力 ４．稲城市手話講習会への協力 ５．稲城市手話通訳者育成への協力
問い合わせ先	FAX:042-331-0017　　email:inagi@deaf.tokyo

福祉センター利用団体のプロフィール

№.５

団体名	声のサークル　こだま
代表者名	三嶋文子
活動内容	目の不自由な方のために文字情報を音訳する。 （読み上げてパソコンで録音・編集し録音図書を作成する）
活動日	第３月曜日　定例会（福祉センターにて） 必要に応じてＤＡＩＳＹ勉強会
活動内容等のＰＲ	・音訳では文字情報を文章だけでなく、図や写真などには簡潔な説明を加えて、すべて読み上げパソコンで録音・編集してＤＡＩＳＹ図書（データ）を作成します。 ・こだまでは、社協の「ふれあい通信」「いなぎ社協だより」等をはじめとして、目の不自由な利用者の方からの依頼で書籍や取扱説明書なども音訳しています。 ・音訳作業だけでなく社協の行事への参加や展示会の見学などに行くこともあります。 ・作成したＤＡＩＳＹ図書はＣＤ－Ｒだけでなく、ＭＰ３データでもお渡し可能になり、利用者の方より手軽に聴いていただけるようになりました。（2025 年より） ※入会については基本的に社協で隔年開催の「音訳ボランティア養成講座」を受講された方を対象としています。
問い合わせ先	社会福祉協議会　ボランィアセンター

福祉センター利用団体のプロフィール

№.６

団体名	手話サークル　いなぎ
代表者名	吉野由起子
活動内容	① 学習会 ② 聴覚障害者からのボランティアニーズに対応 ③ 社会福祉協議会等の主催行事への参加・協力
活動日	毎週火曜日　10：00～11：30
活動内容等のＰＲ	手話技術の向上を図るとともに聴覚障害者への理解を深め、相互交流を図ることを目的にする。 地域の聴覚障害者と聴者はともに学び情報共有、交流を深めています。 各行事への参加、小学校福祉体験、夏ボランティアなど地域への手話の啓発を行っています。
問い合わせ先	社会福祉協議会　ボランィアセンター

福祉センター利用団体のプロフィール

No.７

団体名	稲城市身体障害者福祉協会
代表者名	進藤直人
活動内容	事業報告
活動日	第２水曜日の午前中
活動内容等のＰＲ	稲城市身体障害者福祉協会は、今年で５９年になります。 目的は社会参加、会員の親睦と、いろいろな会合に参加することです。都身連、三身協にも参加していました。 その当時は聴覚障害者、視覚障害者もいっしょに活動しました。会員数も６０人余りいましたが、現在は高齢化その他いろいろな理由で４～５人になりました。４，５名も高齢者になりましたので心配です。 上記を踏まえ、社会福祉協議会の好意により会員募集のチラシを３年前に作成し、社会福祉協議会、稲城市福祉部署に設置しましたが、入会は今まで０人です。 現在の活動は、年に１回のバス旅行です。 その他必要に応じて会合をしています。
問い合わせ先	042-377-2577

福祉センター利用団体のプロフィール

No.８

団体名	傾聴ボランティア　りすなー
代表者名	木村利子
活動内容	稲城市内の高齢者施設や個人宅を訪問し、傾聴活動を行っています。
活動日	定例会　毎月第３木曜日　13 時 30 分～　福祉センター内 （各施設や個人宅への訪問は決められた日程で行う）
活動内容等のＰＲ	・市内の施設を利用されている高齢者、個人宅を訪問し、「相手の話にじっと耳を傾け、話をありのままに受け止め、心に寄り添って聴く」という傾聴活動を通じて有意義な時間を共有し互いに支え合っていきます。 ・定例会では日頃の傾聴活動での困り事や疑問に思っていること等を心おきなく話し合う場にしています。 ・フォロー研修も行います。 ※入会にあたっては、原則、社会福祉協議会主催の「傾聴ボランティア養成講座」の受講を修了した方を対象としています。
問い合わせ先	木村利子　　TEL 090-8518-6362

福祉センター利用団体のプロフィール

No.９

団体名	稲城市登録手話通訳者の会
代表者名	大津昭宏
活動内容	稲城市に登録している手話通訳者が集まり、手話通訳を取り巻く各種課題に対して会員相互での連携や情報交換などを行っています。
活動日	毎月１回
活動内容等のＰＲ	稲城市の登録手話通訳者が月に１回集まり、情報交換や自主研修などを行っています。
問い合わせ先	未公開

福祉センター利用団体のプロフィール

No.１０

団体名	稲城七つの子
代表者名	佐藤　光(会長)
活動内容	専門講師による療育(言語聴覚療法、音楽療法、静的弛緩誘導法、ダンス、創作など)の実施、会員相互の交流、情報交換、体験学習　等
活動日	活動日は主に土曜日(不定期)。 ※年間活動計画で決まっています。詳細はお問い合わせください。
活動内容等のＰＲ	障害児の家族会として 41 年目を迎えます。 生まれ育った稲城で、ともに笑い、ともに歩む、そんな仲間と出会える場所です。 
問い合わせ先	稲城七つの子(事務局) ［TEL］080-5387-0748　［MAIL］nanatsunoko1984@gmail.com

福祉センター利用団体のプロフィール

№１１

団体名	パンジー
代表者名	濱田比佐子
活動内容	毎週水曜日午前９時半から１１時まで 介護予防教室にて体操を行っています。
活動日	毎週水曜日
活動内容等のＰＲ	いつも１６名のメンバーで変わることなく元気に明るく体操を頑張っています。 （ほとんど皆さまお休みされることがありません。） 講師の先生に指導いただいております。
問い合わせ先	濱田宛　042-377-2616

福祉センター利用団体のプロフィール

№１２

団体名	にこにこクラブ
代表者名	和田時子
活動内容	講師指導のもと健康維持
活動日	毎週火曜日（１か月４回）
活動内容等のＰＲ	体幹ストレッチ等 主にイスに座って行う体操
問い合わせ先	

福祉センター利用団体のプロフィール

№１３

団体名	福祉体験サポート「一歩」
代表者名	桐生聖子
活動内容	福祉教育のサポート
活動日	学校等から福祉教育の依頼があった際 （特に２学期は依頼が多いです）
活動内容等のＰＲ	福祉教育をサポートする活動です。 市内の小中学校に出向き、福祉教育（車いす、サポーター体験学習・視覚障害者サポーター体験学習）を通じて、車いすや白杖を使用している方がどのような事に困っているのか、どのようなサポートがあればもっと生活しやすくなるのかを「気づく」きっかけ作りをしています。 地域の中でお互いに支え合うことができる環境づくりを目指し頑張っています。
問い合わせ先	ボランティアセンター

福祉センター利用団体のプロフィール

№１４

団体名	稲城ひきこもり家族会　ぽの
代表者名	世話人　小林幸子、柴田麗子、小宮妙子
活動内容	ひきこもりという同じ悩みを持つ家族が情報交換をしたり、思いを分かち合い、心が軽くなったり元気になったりしたらいいなという交流の場
活動日	毎月第３土曜日　10:00～12:00（８月は休み）
活動内容等のＰＲ	・ひきこもり当事者、家族、支援者の方等、どなたでもご参加ください。(地域は問いません) ・カウンセラーによる相談、支援。 ・社会保険労務士、フィナンシャルプランナーによる「親の老後、子供達のライフプラン」等 ・東京都公認心理士会の相談会 ・家族や本人の体験談 等々適時行っていますが、フリートークによる「息抜き」「情報交換」等の交流を大切にし、時には「歌声ぽの」と称し、皆で歌ったり楽しいこともしていきたいと思っています。
問い合わせ先	稲城市社会福祉協議会　在宅支援係

福祉センター利用団体のプロフィール

№１６

団体名	手話サークル　あすなろ
代表者名	吉野由起子
活動内容	手話学習
活動日	毎週月曜日　18：30～20:30
活動内容等のＰＲ	手話を学びたい方や聴覚障害者と交流したい方が気軽に集まれるサークルです。 基礎から日常会話まで、ゆっくり楽しく学びながら地域イベントや講習会にも参加。 手話を通じて出会いとつながりの輪が広がっています。
問い合わせ先	社会福祉協議会　ボランィアセンター

福祉センター利用団体のプロフィール

№１７

団体名	おしゃべりサロン
代表者名	真鍋　悦子
活動内容	・中央公民館の青年学級「ともだちクラブ」を卒業した人を中心に地域の居場所をめざす自主活動をする団体として 2011 年に「おしゃべりサロン」を結成。市内在住の知的障がい者青年の地域における文化活動をとおして、知的障がい者自身の自分らしさの発見と地域での仲間づくりをめざしています。
活動日	・定例会は、毎月１回。第４週日曜日の午後２時～４時。 ・自由参加で、「おしゃべり会」毎月１回。第２週土曜日の午後２時～４時。
活動内容等のＰＲ	・「特別支援学校」などを卒業して、送迎を必要としない成人の市内在住者を対象として活動しています。 ・コロナ禍以前には、社協の助成金を受け、市内のボランティア団体等の協力を得て、スポーツ交流、料理教室、外出（電車利用）体験、日本の伝統文化体験、音楽活動など体験重視で様々な活動に取り組んできました。 ・現在は、新しい仲間も増えて、メンバーが１５名。仲間づくりに主眼を置いて活動しています。継続的な活動としての定着をめざして、ハンドベルの演奏とモルックの習得に力を入れています。一月には文字の一画を順番に書いて言葉をみんなで完成させる合作書道に取り組み、「つながりアート」への参加や中央公民館交流まつりにはみんなの作品展示と体験コーナーを作って楽しんだりしています。また、障害者週間のいなぎパラアート「いなぎの個性豊かな仲間たち」への出品や、カラオケ大会などもしています。 ・毎月１回、定例会の日時、活動内容、前回定例会の報告を掲載した案内「おしゃべりサロン つうしん」が届きます。 ・会費は、定例会時に月額 100 円を集金しています。 ・市内在住の知的障がい者青年どうしがつながりあって仲間の輪を広げ、地域における自主的な本人活動に一緒に取り組んでいきましょう。
問い合わせ先	・世話人スタッフ：　霜島 義和（０９０-８５６３-３０７１）

福祉センター利用団体のプロフィール

№１８

団体名	チョコっと四郎
代表者名	川本安岐夫
活動内容	主に第四公民館で知的、発達障がいのある人の居場所活動をしています。
活動日	毎月第１土曜日の午後１時から午後２時３０分
活動内容等のＰＲ	たくさんの地域の人に支えられながら様々な活動をしています。 （初詣、室内ゲーム、デザート作り、クリスマス会など） 公民館にひとりで、あるいはご家族と一緒に来られる人はどなたでも参加できます。 費用は参加毎に１回１００円です。 入会費や年会費、月会費はありません。 活動日ならいつでも見学できますので、お気軽にお越しください。
問い合わせ先	川本　080-5171-5793

福祉センター利用団体のプロフィール

№１９

団体名	つながる会いなぎ
代表者名	川本安岐夫
活動内容	知的、発達、重度心身障がい児者の保護者（家族）の会です。
活動日	定例会は毎月第１火曜日　10：00～11：30
活動内容等のＰＲ	「人とつながる」「情報につながる」「明日へつながる」ことを目指して、つながる会としました。 見学会や学習会などを開催して会員の交流・親睦や理解を深めています。 費用は会員が年５００円で、賛助会員は年５００円からです。入会金はありません。 運営は無理のない、ていねいで親切な運営を心がけています。 どなたでも入会できるので、お気軽にお問い合わせください。
問い合わせ先	川本　080-5171-5793

福祉センター利用団体のプロフィール

№２０

団体名	いなぎ社会福祉士会
代表者名	窪田由利子
活動内容	いなぎ社会福祉士会は、福祉の国家資格である「社会福祉士」を取得した人や資格取得を目指す人、また福祉に関心のある人が会員となり、講演会や勉強会等を通じて、自己研鑽を図りながら他機関や市民とのネットワークづくりを目指しています。 地域福祉や権利擁護を中心にひきこもり、ヤングケアラー、こども食堂など身近な内容の講演会や勉強会を企画しています。 様々な経歴や経験を持つ会員との交流も図ります。
活動日	役員会（年10回）：平日　18：30～ 講演会（年１回程度）：土曜日または日曜日の日中 勉強会（年2、3回）：平日の夜、または土曜日、日曜日の日中
活動内容等のＰＲ	「つながる・広げる・知る・学ぶ」をキーワードに福祉分野にとどまらず、防災や教育などの分野についても福祉や権利擁護の視点で考えていきます。 令和７年度は 講演会「地域福祉と地域防災の融合的展開～防災福祉入門～」 勉強会「フリースクールを通じて多様な学びを伝えたい」 を開催しました。 今後も会員や市民の方々の関心のあるテーマで講演会、勉強会等を開催していきます。
問い合わせ先	inagi.csw@gmail.com

福祉センター利用団体のプロフィール

№２１

団体名	稲城市視覚障害者福祉協会
代表者名	今立由紀
活動内容	定例会、イベント交流会、学習会など
活動日	原則毎月第一土曜日の午後
活動内容等のＰＲ	見えない、見えにくいという日常生活の困り事を共有し、情報交換をしながら視覚障害者の生活の質の向上を目指して活動しています。 稲城市在住在勤の視覚に障害をお持ちの方やその家族の方はどなたでも参加していただけます。
問い合わせ先	TEL 080-6206-9244　E-mail inagiblind@gmail.com